

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

奥の細道
むすびの地



令和四年七月度 入賞句一覧 投句数 六百六十二句

特選

大西 誠一 選

まず一粒食べて供えしはしり枇杷

養老郡養老町 山田 順子

この句を見た時まず、なんと礼の無い事かと感じました。自分が食べた後に仏様に供えるとはけしからん！と。二回目、三回目読むうちに、亡くなられた方への優しさが、これ程あふれる句は無いことに気付きました。もしかして美味でなかったら供えなかったかもしれない。いろいろ考えさせられる句で大変すばらしい。

四姉妹偲ぶ川筋ほたる舞ふ

不破郡垂井町 西田 厚堂

中学生、高校生の頃、夏休みは三十冊〜四十冊の小説を読みました。好きな作家の一人が、谷崎潤一郎で、特に「細雪」は大好きでした。大阪船場の没落商家、蒔岡家の四姉妹が魅力的であることが伝わる、すばらしい句となりました。季語の「ほたる舞ふ」が上手です。

天上へ手足はねるる天瓜粉

安八郡輪之内町 野村 照子

赤子を詠んだ句は色々みてきましたが、今コロナ禍の中、生まれてくる子供が伸び伸びと育ち、楽しい世界であることが望まれます。それにピツタリの句です。「天上へ手足はねるる」が大変素晴らしい。

秀逸

ラムネ玉すたとんと落ちて仲直り

大垣市 傍島 隆

割箸の足に長短茄子の馬

不破郡垂井町 大羽 志風

校舎より大合唱や立葵

大垣市 樋口 絹子

代田掻き鷲・鳧・鳥引き連れて

大垣市 水谷 義雄

心太京都訛りの売り子さん

安八郡神戸町 大槻 恭子

池塘はやとんぼ生れたり雲白し

大垣市 白井 秀子

鯉泥鱸はしやぐ大人の溝浚へ

大垣市 立川 昌子

迷想の地球を歩くはぐれ蟻

大垣市 吉田 てるみ

早乙女となりて昔を学ぶ子ら

大垣市 村瀬 利明

吟行やブルーへブンの薔薇に会い

本巢市 土川 楽人

入選

反抗期素直になれる蛍の夜

大垣市

傍島 豊子

朴の花空の青さを近くせり

大垣市

大杉 すみゑ

桐の花トンネル多き山の道

大垣市

北浦 典子

ピンとたつシエフの帽子や風薫る

大垣市

新町 恵子

イーゼルの油絵卵の花腐しかな

大垣市

田口 貞善

口遊ぶロシアの唄や余花の雨

大垣市

藤岡 啓子

一斉に天突く穂先麦の秋

大垣市

宮脇 和子

麦秋の浮き雲流る戦火の國

山県市

上野 陽子

夏燕一閃はせを緑の地

岐阜市

廣瀬 あや子

山好きの夫へ脚太茄子の馬

埼玉県川口市

吉永 寿美子

地球とて勞つてやり水を打つ

奈良県奈良市

やまとなでしこ

茄子の花鉢に咲かせて路地ぐらし

大垣市

田中 雅子

嬉々として茅の輪くぐりし女の子

大垣市

岡田 あや子

薫風やレモネード待つカフェテラス

三重県四日市市

井戸 康子

荒梅雨や古地図重ねる都市マップ

神奈川県川崎市

佐藤 廣枝

犬猿の仲の如しやラムネ玉

三重県鈴鹿市

ドラム缶王

棹で落とす青梅の描く放物線

三重県三重郡

水野 悦子

薫風や三角ベースに五人の子

福岡県福岡市

大津 英世

扇風機ボタンを押すと騒ぎ出す

宮崎県児湯郡

梅原 あいと

でで虫や夫とずれる時間軸

埼玉県さいたま市 澤田

紫

選者吟

溽暑かな眠れぬ夜を又灯す

誠一

一般の部

